

**駐大阪中国総領事館主催**  
**建国 63 周年記念レセプション開催される**  
2012 年 9 月 28 日（金）18:30～20:30  
ホテル阪急インターナショナル

昨今の尖閣問題で日中関係がこれまでにない悪化を呈している中、駐大阪中国総領事館が主催する建国 63 周年記念レセプションが開催されました。当初は国交回復 40 周年と建国 63 周年の双方を祝うことで開催計画されていましたが、東京中国大使館が 25 日に開催した内容と同じになり建国 63 周年を祝うレセプションのみとなりました。参加者は 400 名強だったかと思えます。

当会からは見本会長、清瀬副会長、許副会長、新文化・広報部会長、高田事務局長の 5 名が参加しました。



レセプション会場



総領事館 劉毅仁総領事



コンドス副総領事

レセプション会場のひな壇には横断幕がなく、演台があるのみで両サイドには大阪の関係団体の花輪がひととき目立ち、寂しい感じがするレセプションでした。18 時 30 分になり駐大阪中国総領事館の胡元元さんの司会で記念レセプションが開始され、劉毅仁総領事が約 15 分の挨拶を行い、来賓の挨拶はなしという異例な場となりました。劉毅仁総領事は、1972 年日中国交正常化からこれまでの日中関係の歴史と今後の更なる発展を期待すること、昨今の釣魚島関係で日中関係がかなり悪化していることへの危惧と早く関係修復を期待することなどを述べた後、自ら乾杯の音頭をとり、参加全員が食事をしながら懇親を深めました。

会場には、元自民党の野中広務氏、日中協会白西理事長など日中間で貢献されている著名人も参加していました。特に懇親の席上では、劉毅仁総領事への挨拶では長蛇の列が見られ、総領事は食事もできない状況であったことが感じられました。

当会は、名前の通り日中の平和と友好を推進し、日中ビジネスでお互いを理解し、双方 Win-Win にしていくことで進めております。尖閣問題で日中の平和と友好を破壊しないよう祈願しています。



司会役の領事館 胡元元さん



日中協会 白西理事長